





1. 東側から見た外観。ガルバリウム鋼板の軽快な屋根と独特な風合いのあるアクリルリシン吹き付け仕上げの外壁で、オーソドックスな印象に 2. 上部に吹き抜けがある玄関。奥の階段は蹴上げ板を付けていないため、視線が先まで伸びていく 3. 南の庭に向けて大きく視界を確保したLDK。四季折々の植栽の眺めを楽しむことができる。ナラ材の床と和紙クロスの壁、杉板張りの天井で自然素材の質感に満ちた内装に仕上がった



# 太陽の温もりに包まれる ガーデンサイドハウス

## 東京·小金井市 Tさんの家

家族構成/夫73歳 妻74歳 次女45歳 本体工事費/3500万円

# EAST | TOKYO

# 高田工務店

心の豊かさを得られる快適な住まいのために 高断熱化された基本性能の建物と 太陽熱を生かすソーラーシステムを活用

#### PROFILE

目指すのは「心を豊かにする家」。その手段として重視しているのが、住宅の高断熱化と、太陽熱を給湯・暖房に利用するハイブリッドソーラーの組み合わせだ。現場の豊富な知識に裏づけられた質の高い設計と職人が支える技を充実させることで、自然のエネルギーを無駄なく生かし、高品質な住宅づくりを実現している。

#### DATA

社名/高田工務店

代表/高田良晃

住所/〒206-0811 東京都稲城市押立870-3

☎042-377-5359

年間建築棟数/新築5棟

社員数/5名

建築地域/東京都、神奈川県、埼玉県の一部

設立/1963年5月 定休日/日曜日

アフターメンテナンスの対応

・竣工後1年目、3年目に点検を実施



過去の施工資料のバックアップも豊富な社屋。 設計・施工の対応力の高さも同社の魅力だ

#### COMMENT

本物の住まいとは何か? 快適とはどういった ことか? 学生時代に重いシックハウス症状に 悩まされた経験を生かし、住まい手が健康に 暮らせる家づくりに取り組んでいます。お気軽 に声をお掛けください。

#### 高田良晃

1960年東京都生まれ。 工学院大学建築学科卒 業後、総合建設業に就 職。企画・設計に携わ ったが、売り手発想の 住宅販売、建築のあり 方に疑問を抱く。以来、 「創造空間」という理念 を掲げ現在に至る。





# 身近に感じられる住まいに自分の手入れする庭を

この地に建っていたのは築40年にもなるアパート併用住宅。間取りも設備も古くなったこともあり、サーナーの下さん夫妻は「これ以上がくら改装しても…」と見切りをついくら改装しても…」と見切りをついて、高田工務店に建て替えを依頼することに。

ゆとリのある敷也を主かし、建好感を持ちました」(妻)。と断熱・気密性を重視する作風にと断熱・気密性を重視する作風に

ゆとりのある敷地を生かし、建 物は北に寄せて、植栽の手入れが 物は北に寄せて、植栽の手入れが を1階に配置した。キッチンとダ を1階に配置した。キッチンとダ を1階に配置した。キッチンとダ を1階に配置した。キッチンとダ

い間取りとなった。 と階は家族それぞれの個室。室 の気配が伝わるように廊下側に 内の気配が伝わるように廊下側に

「同社が得意とする「ハイブリッド 関社が得意とする「ハイブリッド でれた。オープンな室内をほどよ でれた。オープンな室内をほどよ でれた。オープンな室内をほどよ

す」。夫は満足げに笑った。布団の上でストレッチしていま布団の上でストレッチしていま







# 建主の MY FAVORITE

もともとは既製品のシステムキッチンなのですが、外側にカウンターを取り付けてもらいました。おかげで配膳などもしやすくなったんですよ。この独特の丸みは夫のアイデアです。大工さんは苦労したみたいですが、おかげでお盆なども置きやすくなりました(妻)。

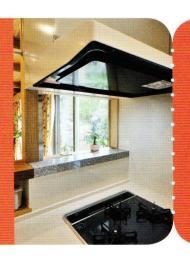


1. リビング、ダイニング、キッチンが連続した1階。日中はこの LDK が夫妻のくつろぎの場となる 2. 間口を広く確保した玄関ホール。リビングとの間仕切り戸にはチェッカーガラスを入れて、開放感を演出した

# へ <sub>得意技</sub> おさまり

# 違和感なく仕上げる

設計意図を効果的に施工に反映させる ため、同社では設計担当者と施工者と の意見交換を大事にする。T邸のキッ チンにおけるコンロ前のガラスの仕切 りもそのプロセスによって生まれたも の。違和感なく施工がおさまることで 庭への視界が美しく確保された。

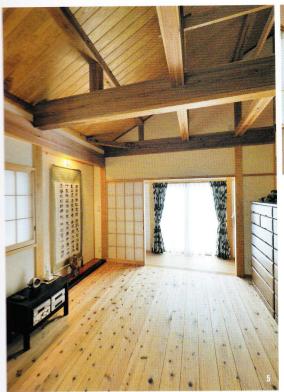


# ◆ 注目 採光・通風

## 光と風の道を設ける

写真は 2階の通路。東からの光を取り 入れつつ、吹き抜けから階下の玄関へ 明るさを届け、各個室では欄間を光と 風の通り道に。要所で採光・通風を配 慮することで、室内は明るく新鮮な空 気で満たされ、冷暖房も効率よく行う ことが可能になっている。









3. 各所の窓から光が入り、明るい 2階ホール。床には感触のソフトな杉板を張った 4. 東と南 に開口部を設けた妻の寝室。収納部も造作され、プライベートルームとしての機能が充実 5. 夫の個室では小屋組みを表した。「武道場にいるかのような雰囲気にしてほしい」という夫の要望を受けて、厚さ 30mm の杉材で板敷きの仕上げに。東側には緑側のイメージの空間も用意 した。開口部や間仕切りには障子を入れて和のテイストを強調している

> ゆ温自 か然 がさに包まれて然な明るさと できま



6. || 列型の対面式キッチンはゆ ったりと広めに計画された。床 には御影石を貼った。冬には床 暖房の熱を蓄え、夏にはひんや りと 7.キッチンのダイニング 側には大工の造作で、カウンタ ーと収納棚を設置





2F



1F

延床面積/133.78㎡(40.54坪) 1階/70.21㎡(21.28坪) 2階/63.57㎡(19.26坪) 用途地域/第1種住居専用地域 建ペい率/40% 容積率/80%

敷地面積/294.88㎡(89.36坪)

構造/木造軸組工法 本体工事費/3500万円 竣工/2011年10月

#### INSTRUMENTS

キッチン/タカラスタンダード+一部造作 窓・サッシ/トステム LD の照明器具/オーデリック

撮影/後藤徹雄 取材·文/渡辺圭彦

# バリアフリ

# 室温も均一に

室内は移動に支障のないように洗面室 や浴室など随所で段差が解消された。 さらにハイブリッドソーラーによる床 暖房の熱をしっかりとした断熱・気密 性によって室内に行き渡らせていて、 室温も均一に。温熱環境においても身 体への負担が軽減されている。

